

痴漢(強制わいせつ)など

子どもや女性を 対象とした犯罪

手口と現状

本県における令和3年中の強制わいせつ被害は45件、前年に比べて7件(18.4%)増加しています。

また、「声かけ」、「つきまとい」、「公然わいせつ」などの「子どもや女性に対する声かけ事案等」が588件で、このうち18歳以下の子どもに対するものは424件で全体の約72%でした。

子どもへの「声かけ事案等」は、登下校時間帯に路上で多く発生しています。

子どもの登下校時間帯にあわせて散歩や買い物をしたり、家にいるときでも通学路に目を配り、子どもたちの見守り活動を行いますよう。(詳しくはP.25へ)

次のような手口があり注意が必要です。

● 路上では

● 道を聞く振りをして近づき、路地裏や空き地などに誘い込むもの。

● 物陰に潜んで待ち伏せし、通りがかった瞬間に空き



地などに引き込むもの。

● 車に誘い込んで、ひと気のないところまで連れ去るもの。

● ひと気のないところまで後を付けて犯行に及ぶもの。

● 自宅等では

● マンションの入口などで待ち伏せと一緒にエレベーターに乗り込んで犯行に及ぶもの。

● 高層階でもベランダや窓から侵入するもの。

● 物陰に潜み、ドアを開けた瞬間に背後から押しこまれ、侵入されるもの。

● 「隣の方の荷物を預かってください」、「あなたの車にぶつけてしまったのです」など、いろいろな口実でドアを開けさせて押し入るもの。

● 駅・電車内・店舗などでは

● 駅、デパートの階段やエスカレーター、書店やコンビニ等で背後から近づき、スマートフォン等でスカート内を盗撮するもの。



● 車に乗車する際や信号待ちの際に、助手席や後部座席から乗り込み犯行に及ぶもの。

● 電車内で、混雑に乗じて、体を接触させて犯行に及ぶもの。

● 駅の駐輪場等から後を付けて犯行に及ぶもの。

被害に遭わないために

● 路上では

● 1人ではなく、複数で行動する。



- 遠回りでも人通りの多い道や街灯のある明るい道を選んで通る。

- 常に周囲の状況を確認するなど警戒していることをアピールする。

- 歩行中や自転車に乗りながらイヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを使ったりしない。(後ろから付けられ、接近されても気付きません。また、交通事故等の原因にもなり危険です。)

- 防犯ブザー等の防犯グッズをいつでも使える状態で携帯する。

- 不審な人がいたら、できるだけ早く、人通りの多いところへ移動する。

- 万が一のため、避難できる交番等の場所を確認しておく。

● 自宅では

▼ 自宅の出入り

- 周りを良く確認してから玄関の鍵を開ける。

- 一人暮らしの人や家族が不在のときも、帰宅時には、玄関ブザーを鳴らしてから鍵を開けたり、「ただいま」と言いながら家に入るなど、家族がいるようなアピールをする。

- 家の中に入った後、ドアを閉めると同時に玄関の鍵をかける。

▼ 戸締り(ドア、窓の鍵)

- 窓やベランダの戸を開けたままで寝ない。

- お風呂に入るとき、寝る前には、玄関や窓の鍵を確認する。

- 高層階に住んでいても、窓の鍵を必ずかける。

- ゴミ出し等、少しの間でも玄関の鍵をかける。

- ドアスコープなどで相手を確認し、見知らぬ訪問者には、ドアチェーンを掛けたままドア越しに対応する。

● 駅・電車内・店舗などでは

- 階段やエスカレーターなどでは、背後に不審な人がいないか確認する。

- 混雑している電車内やイベント会場などでは、バッグなどを利用して、身体を守る。

- 車は、明るいところに駐車し、離れるときには短時間でも必ず鍵をかける。乗車する際は周りに不審な人がいないか確認し、乗車したらすぐに鍵をかける。

● その他

- 一人暮らしの女性は、玄関の外に女性用の傘を置いたままにしないなど、女性の一人暮らしであることを知られないよう注意を払う。



- ベランダに洗濯物を干す際は、通りから目立つ位置に長時間干さないようにするなど女性の一人暮らしであることを知られないよう注意を払う。

- 普段から良好な近所付き合いをして、何かあったときには助けを求められるような環境をつくる。

- 子どもの名前を表札に書かないようにするなど、子どもの名前を不特定の人に知られないようにする。

- SNSなどに名前や学校名などの個人情報を書き込まない。

● SNSなどで写真を公開する際、画像背景や位置情報データに注意を払い、自宅を特定されないようにする。

● 日頃から親子の会話を大事にし、何かあった時に子どもから親に相談しやすい環境をつくる。

● 自治会やPTA等による通学路の「見守り」や「自主防犯パトロール」活動に積極的に参加する。

被害に遭ってしまったら

● 身を守ることを最優先に考え、とにかく大声で助けを叫び、走って逃げる。

● 防犯ブザーを鳴らす。

● 「子ども安全協力の家」、「かけこみ110番の店」などへかけ込み、助けを求める。



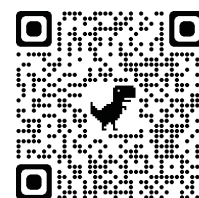
● 相手の特徴をできるだけ覚え、安全な場所から110番通報をする。(素早い通報で、更なる被害を防ぐことができます。)

いかのおすしとは子どもの安全のために 守ってもらいたい 5つの約束の頭文字をとった安全標語です。

群馬県公式 YouTube チャンネル「tsulunos」で動画配信中です！

1. 知らない人について「**い**かない」
2. 知らない人の車に「**の**らない」
3. 助けてと「**お**おごえをだす」
4. 怖いことがあったら「**す**ぐにげる」
5. 大人の人に「**し**らせる」

子どもの防犯～「いかのおすし」
デジタル紙芝居編～



(協力：kirakira イラスト：山口美那枝)

ぐんまちゃんと学ぼう！防犯ブザーをならしてにげる 動画も配信中です！

危険な目にあった時に子どもたちの声の代わりにしてくれる防犯ブザーの鳴らし方と、重いランドセルを落として早く逃げる方法をぐんまちゃんと一緒に学ぶことができます。
(動画の時間3分程度)

